

2019.5.23 <計2枚>

京都大学記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

**立命館東アジア平和協力研究着手記念国際シンポジウム  
「東アジア安保環境の変化と朝鮮半島の未来」開催**

日時：2019年5月30日(木) 12:30~18:30

会場：立命館大学衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム

立命館大学衣笠総合研究機構は、東アジア平和協力研究着手を記念して、国際シンポジウム「東アジア安保環境の変化と朝鮮半島の未来」を開催いたします。

現在の国際社会では、米中対立構造が浮き彫りになっています。中国のインド洋におけるプレゼンスの拡大に対する警戒心から、アメリカは太平洋に位置する民主主義国家の連携を強める外交戦略として「インド太平洋戦略」を打ち出しています。

本シンポジウムでは、アメリカの外交戦略が東アジアの国際秩序や朝鮮半島の非核化にどのような影響を及ぼすのかについて、日本・中国・韓国およびアメリカの4ヶ国における専門家が4部構成で研究発表・討論を行います。各国から見た東アジアの現状を把握するとともに、東アジアの平和に向けて、社会的理解を深める機会とします。

当機構は、今後も多様な視点で各国を代表する専門家を集めた国際シンポジウム・会議を定期開催し、研究成果を対外的に発信していく予定です。

## 記

開催日時：2019年5月30日(木) 12:30~18:30 (受付 12:00~)

会場：立命館大学衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム

プログラム：別紙をご覧ください。

主催：立命館大学衣笠総合研究機構

後援：韓国国際交流財団、立命館大学国際関係学部、  
立命館大学アジア・日本研究所、立命館大学コリア研究センター

言語：英語、日本語(同時通訳)

その他：参加費・事前申込不要、どなたでもご参加いただけます。

会場定員(120名)に達した時点で入場を締め切らせていただきます。

※ご取材いただける場合は、前日までに下記までご連絡をお願いいたします。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:中村

TEL. 075-813-8300

既存の枠を超えて未来をつくり出すこと  
それが立命館のアイデンティティー

**Beyond Borders**

別紙

[プログラム]

12:30～13:30

開式の辞 中戸祐夫(立命館大学)  
歓迎の辞 松原洋子(立命館大学副学長)  
祝辞 李在汀(韓国国会議員)  
祝辞 李是衡(韓国国際交流財団理事長)  
講演 藪中三十二(立命館大学客員教授、元日本外務省事務次官)  
講演 洪翼杓(韓国国会議員)

第1セッション(13:30-14:50)「米中関係と東アジア安保環境の変化」

司会 中達啓示(立命館大学)

【発表】①Frank Jannuzi(モーリーン&マイク・マンズフィールド財団)

「トランプ政権のインド太平洋戦略と米中関係」

②王勇(北京大学)

「習政権の一帶一路と米中関係」

③Andrei Lankov(国民大学)

「現実主義から見た露朝関係」

④辛正承(元・駐中韓国大使)

「米中関係と朝鮮半島への含意」

【討論】①廣野美和(立命館大学)

②朴在績(韓国外国語大学)

第2セッション(15:00-16:10)「重大局面にある朝鮮半島における非核化と平和」

司会 大久保史郎(立命館大学)

【発表】①徐勝(又石大学東アジア平和研究所)「朝鮮半島における平和の時代」

②Ivan Sascha Sheehan(バルチモア大学)「トランプ政権の立場」

③李貞澈(崇実大学)「平和と繁栄のための韓国の新しい道」

【討論】①牧野愛博(朝日新聞)

②朱宰佑(慶熙大学)

③崔正勲(立命館大学)

第3セッション(16:20-17:30)「日・米・韓協力と東アジア安全保障:過去・現在・未来」

司会 張澹重(ソウル大学)

【発表】①認田芳憲(立命館アジア太平洋大学)「日米韓協力についての一考察」

②呉榮煥(中央日報)「危機の日韓関係と再定義の必要性」

③崔鎮旭(立命館大学)「韓国の視点から見た韓米関係」

【討論】①金壯鎬(韓国外国語大学)

②林恩廷(立命館大学)

③文京洙(立命館大学)

第4セッション(17:40-18:30)「政策的含意についてラウンドテーブル」

司会 中戸祐夫(立命館大学)

【討論】すべてのパネリスト

以上